

3 類型	鉱工業品	通巻番号	5-22-002
地域資源名	湖東麻織物（近江上布）	認定日	平成22年6月15日
地 域	滋賀県東近江市、彦根市、愛荘町	所管省庁	経済産業省

**事業名：近江上布伝統の「羽根巻き捺染」技法を活用した類似性のない麻
緋商品の開発と販路開拓**

会社名：大西新之助商店

所在地：滋賀県彦根市新海町字今屋敷

連絡先：TEL：0749-43-4434

前1125

FAX：0749-43-5616 HP：<http://shinno-suke.com>

事業概要（新たな活用の視点）

・これまで近江上布の手織り着尺（和服1枚を仕立てるのに必要な反物）や座布団等を製造し、京都の間屋、大阪のアパレル卸業者を中心に製品を納品し事業を広げてきたが、近年アパレル関係は中国からの輸入に依存するようになったことから、個人消費者向けの直販事業と小売店への販売事業に取り組んでいる。

・本事業では、近江上布伝統の製法である「羽根巻き捺染」（注）の技法と、独自で開発した3種類の織物を同時に織布することが出来る広幅織機を用い、コストダウンと小ロット対応、納期短縮による消費者や小売店のニーズに合った高品質の麻緋商品の開発と販路開拓を行う。

（注）昭和8年に羽根巻きによる型紙捺染の技法が考案され、「麻（あさ）縮（ちぢみ）緋（がすり）」が商品化された。この「羽根巻き捺染」は大柄や中柄、多色遣いの模様に向き、羽根巻きという着尺幅の金枠に緯糸を巻きつけ、柄彫りした型紙を置き捺染していく近江上布伝統の染色法。

売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

◆競争力

・原糸は国産の紡績品を100%使用し、糸の品質は細番手にこだわっているため、しなやかである。

・染め柄の輪郭はぼかしているように見え、図柄が不規則に並んで染め上げられ独特の味わいがある。

◆市場性

・近江上布の特徴である細い糸を平織りした最高級品麻織物のため、涼しくて着心地が良く、麻はごわごわするとの先入観を持ち敬遠する消費者に対しても新たな需要が見込める。

◆販路

・個展・展示即売会を通じた消費者直販、小売店、Web販売を中心に行い販路開拓に取り組む。

地域資源における関係事業者との連携

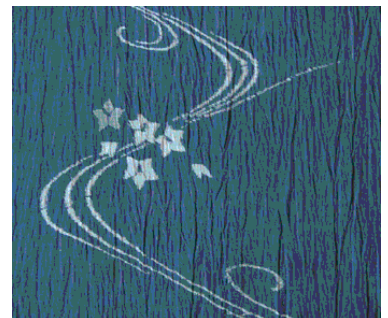
・滋賀県中小企業団体中央会から支援を仰ぎ、専門家や協力先の紹介を受けるほか、滋賀県工業技術センターから製品の物性値測定、品質保証面での指導を受け連携を図る。



【羽根巻き捺染】



【麻緋（鯉）】



【麻緋（桔梗）】